

# 東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連携し「民医連ここにおい」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 36 2011. 4. 18 17:45 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren. gr. jp

## ◆全日本民医連理事会(4/15)で今後の支援方針を決定！◆

全日本民医連理事会で、「全日本民医連は東日本大震災・原発事故にどのように立ち向かったか～震災・原発事故1ヶ月間、全日本民医連の取り組みのまとめ～」を確認しました。地震発生直後からこの1ヶ月の皆さんの奮闘、被災地の状況、今後の支援にあたっての基本方向がまとめられています。(近日中に全日本民医連HP>対策本部情報に掲載予定です)

### 5月の支援体制について

連休中、および連休後の岩手・宮城・小名浜への支援体制が示されました。(松島支援は4月で終了とします。)地協ごとに調整が図られていることと思います。連休中は支援の規模を縮小します。(疲弊している現地の職員に休養をとってもらうためです)

連休中(5/1～5)

支援先	地協・県連	医師	看護師	事務・SW・他	介護職	薬剤師	セラピスト
岩手	北海道・青森・秋田・(岩手)	2	4	2	2		
宮城	北海道・青森・秋田					2	2
	北関東・甲信越・山形	1	2	1			
	関東	1		1			
	東海・北陸	1	1	1			
	近畿	1	1	1			
	中国・四国	1	1				
	九州・沖縄	1	1				
宮城野の里					調整中		
小名浜	関東		5				

連休後(5/6～)

支援先	地協・県連	医師	看護師	事務・SW・他	介護職	薬剤師	セラピスト
岩手	北海道・青森・秋田・(岩手)	2	4	2	2		
宮城	北海道・青森・秋田					3	2
	北関東・甲信越・山形	1	2	1			
	関東	1		1			
	東海・北陸	1	2	1			
	近畿	1	2	1			
	中国・四国	1	1	1			
	九州・沖縄	1	1	1			
宮城野の里					調整中		
小名浜	関東		5				

☆金・土(5/13以降)は、宮城で20名程度(職種問わず)の地域訪問・相談活動を行いますので、各地協3～4名を組織することとします。

### 支援募金の扱いについて

全日本民医連に1億9千万円を超えする義捐金が届けられています。下記の方で役立てることになりました。

#### <県連・事業所を通じて寄せられた義捐金>

- ①被災した各県の「義捐金配分委員会」を通じて被災者に直接お届けする
- ②被災した自治体(この間の支援活動で関わりの深い自治体)にお届けし、復興に役立ていただく
- ③被災した加盟事業所の復興に役立てていただく
- ④支援物資などの購入に役立てる(全日本民医連が緊急に購入した医薬品など)

#### <厚生事業協へ寄せられた義捐金>

被災した事業所(事業協組合員)に直接寄付することが目的です。加盟事業所の被災状況に応じてお届けします。

\*なお、支援に関わって生じている交通費(支援バスのチャーター費用など)や宿泊費などは、義捐金の活用ではなく、全日

本民医連の費用とします。

## 福島原発事故の避難地域および周辺地域の住民が受診されたときの医療対応のありかたについて

4/15全日本民医連理事会で、避難地域および、周辺地域の住民の方が低線量の放射線被曝を心配されて受診された際の医療対応のあり方を検討しました。4/18付ア号通達457号で各県に発信します。これをもとに各事業所で整備をお願いします。全日本民医連HP(対策本部情報>福島原発事故関連)にも掲載予定です。以下、ポイントを紹介します。

### <前提>

- ①現在の放射線量では急性障害は生じません。概ね500mSv以上の線量を短時間に受けた場合に全身倦怠感などの自覚症状や白血球の減少といった検査値の異常が生じてきます。
- ②低線量被曝による晩発性障害は数年後、あるいは数十年後に生じてくる可能性の問題であり、確率的な問題です。後年に備える目と構えが必要です。
- ③低線量被曝の問題は原爆症認定集団訴訟の教訓から明らかであり、急性被曝障害と混同させずに対応することが基本です。講演録「正確に学ぶ放射線 人体への影響(齋藤紀医師)」で学習してください。

(全日本民医連HP 対策本部情報>福島原発事故関連 <http://www.min-iren.gr.jp/html/menu12/2011/20110407115051.html>)

### <目的>

- ①住民に寄り添い、不安や期待に応える対応をすること
- ②具体的に必要なことにきちんと対処すること
- ③今後の資料として保存しておくこと

### <流れ・方法>

- ①問診をとる
- ②行動記録を残す
- ③診察と検査を行う
- ④異常の有無をみて、今後の対応を検討する
- ⑤各種記録の保存をする

問診票、行動記録票の案は、通達文書の中でお示しています

## 宮城・坂病院および関連事業所へ支援に入る皆さんへ

宮城・坂病院支援に入られるみなさんへ、持ち物等について現時点でのご案内です(添付ファイルをご覧ください)。

## 支援者のボランティア保険加入について

支援中に万一事故等があった場合にそなえ、保険の加入をお勧めしています。★全日本民医連で一括した保険加入は扱っておりません。各法人、事業所でご加入ください。

各都道府県の社会福祉協議会や、各保険会社がボランティア保険を取り扱っています。(社会福祉協議会の保険は県によって違いがあるので、全社協ではなく各県にお問い合わせください。)

## = 韓国人道主義実践医師協議会からの慰労の書簡が届きました =

地震と津波に続く原発事故で大変な日々をお過ごしの中、全日本民医連医療機関連合会の会員の皆さんに、お見舞いの挨拶を申し上げます。

人道主義実践医師協議会は、全日本民医連と持続的な交流をもってきた団体として、今回の事態を我が事のように考えており、心を痛めています。

未だ進行中の被害が最小化されることを願い、問題がこれ以上拡大せず、速やかに終わることを願っています。

被害復旧と支援に余念が無い全日本民医連の会員の皆さんに、連帯の気持ちをお伝えします。

人道主義実践医師協議会も、その道を最大限共にできるよう努力します。(2011年4月 / 人道主義実践医師協議会)

**支援者到達 (18日現在) : 2119人 (医師336、薬剤師120、看護師605、技術系422、事務他636)**  
**本日の支援者数は (移動含む) 201人。延べ数は9980人となりました!**  
**支援募金到達 : 1億9400万円を超えました!**

## ◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。